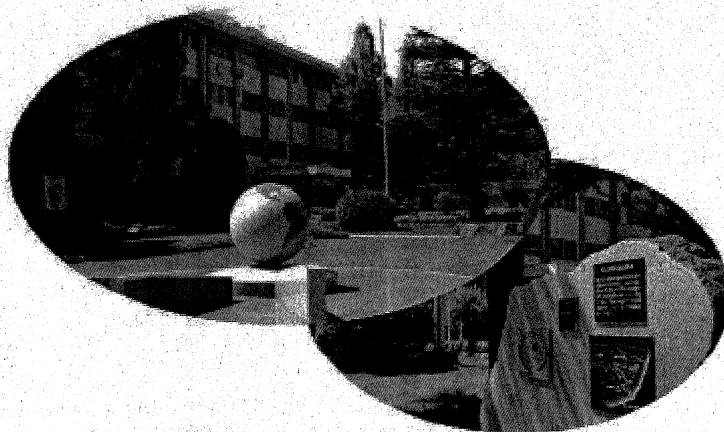


令和 5 年度 年間学習計画 【シラバス】



生活創造科 2 年

令和5年度「言語文化」(2単位)年間指導・評価計画

授業担当等	生活創造科2年	使用教科書	「新編言語文化」(東京書籍)
-------	---------	-------	----------------

教科・科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語を的確に把握し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。
 ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

育成する資質・能力			知識技能 [学習指導要領との対応]	思考・判断・表現[学習指導要領との対応]			主体的に学習に取り組む態度	評価の方法	主な学習活動	教材等			
				A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと							
月	単元名・時数		指導事項・評価基準										
4	読む さくらさくら P10. 2時間	4	107 イ、ウ、エ				(I) ア、イ	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	通んで日本独特の桜に対する感性について理解を深め、学習課題に沿って本文や引用歌の考察を踏まえながら筆者の桜への思いを整理しようとしている。	①記述の点検②行動の分析③記述の分析	1桜に対するイメージや筆者について知っていることを発表する。 2本文を速読し、三つの部分に分けて、それぞれの話題をまとめる。(手引き1)	教科書、ノート、ワークシート、タブレット	
5	●体育祭 読む 兄のそら塚 P122 古文学習のしるべ1 古文の言葉と仮名遣い P124. 2時間	6	206 ア、ウ、エ、ワ				(II)ア	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	①通んで歴史的仮名遣いについて理解し、学習課題に沿って読解のおもしろさを読み取ろうとしている。	①記述の点検②行動の分析③記述の分析	・歴史的仮名遣いについて理解し、読解のおもしろさを読み取る。1本文を音読し、歴史的仮名遣いに慣れる。(手引き1) 古文学習のしるべ1) 2兄の気持ちの変化を整理し、最後の描写的意味について考える。(手引き2・3)	教科書、ノート、ワークシート、タブレット	
6	5月の続き ★考查	4											
7	読む デューク P107. 2時間	4	300 ア、ウ、エ				(I) ア、ウ	「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	通んで文章の構成や展開、表現の特色などを理解し、学習課題に沿って、主人公の心情の変化を読み取り、表現に注意して話の展開を捉えようとしている。	①記述の点検②行動の分析③記述の分析	「私」のデュークに対する気持ちを読み取る。(手引き2) 3「私」が「少年」と出会った経緯を整理し、「『コーヒーマシをこらそうさせて。』と云った」「私」の気持ちについて考える。(手引き3)「少年」と通って「私」の様子と気持ちの変化を読み取る。(手引き4) 2「少年」が去った後をそこから動けなかった「私」の気持ちについて考える。(手引き5)	教科書、ノート、ワークシート、タブレット	
9	7月の続き ★考查	8											
10	読む 岸あめをめる【短歌】 P50 短歌の読み方 P53. 1時間	6	301 ア、ウ、エ				(I) ア、ウ、エ、オ、カ、ク	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	通んで短歌の特色や表現効果を読み取り、学習課題に沿って、それぞれの歌にこめられた情景や心情を読み取ろうとしている。	①記述の点検②行動の分析③記述の分析		教科書、ノート、ワークシート、タブレット	
11	●音楽祭 書く 【言語】短歌を作る P167. 2時間 ★考查	4	111 イ、ウ、エ				(I)イ / (II)ア	「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描き、語句などの表現の仕方を工夫している。	通んで短歌の構成や語句などの表現の仕方を工夫し、学習課題に沿って、自分の感じたことや伝えたいメッセージなどを、古典的技法に倣って効果的に書こうとしている。	①記述の点検②行動の分析③記述の分析	・自分の感じたことや伝えたいメッセージなどを、古典的技法に倣って短歌にし、効果的に書く。	教科書、ノート、ワークシート、タブレット	
12	11月の続き ●最高百首かるた大会	6											
1	読む 訓読の基本 P210 【言語】漢字の読みと意味 ――漢和辞典を活用しよう P218. 2時間	6	302 ア、ウ、エ				(II)ア	文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	通んで漢文の特色や訓読のポイントを理解し、見通しを持って、古典を学ぶ意味について考えを述べようとしている。	①記述の点検②行動の分析③記述の分析	・漢和辞典の使い方を知り、漢字の読みと意味の関係について理解する。□中学校で学習した唐詩・『論語』故事成語を発表し、高校での漢文学習への意識付けを図る。 □「新説」の導入文を読み、漢文とは日本語と表現が異なるものであること、その漢文を日本語として読む工夫が訓読であることを理解する。	教科書、ノート、ワークシート、タブレット	
2	読む 故事成語一三編【言語】 P220	3	203 ア、ウ、エ、イ				(II)ア、エ、オ	・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。	作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。	①記述の点検②行動の分析③記述の分析	□中学校で学習した故事成語について、意味や背景等を発表し、その学習を通して得たものを再確認する。 □知っている「故事成語」を答えさせ、その背景となる「寓話」を国語便覧等を使ってグループ等で調べさせる。	教科書、ノート、ワークシート、タブレット	
3	書く 【言語】『三国志』の英雄 ポスターを作る P254 1時間	3	207 イ、ウ、エ				(II)ア	「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を選び、効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描き、語句などの表現の仕方を工夫している。	通んで調べて得た情報を的確に整理し、学習課題に沿って、人物像が伝わるポスターを作ろうとしている。	①記述の点検②行動の分析③記述の分析	・好きな人物を選び、調べて得た情報を的確に整理し、人物像が伝わるポスターを作る。□取り上げる人物を決めて、その人物についてのエピソードや評価などを調べる。(課題2) □集めた情報を整理し、キャッチフレーズを考へるなどして、ポスターにまとめる。(課題3) □ポスターを読み合い、気づいたことを伝え合う。(課題4)	教科書、ノート、ワークシート、タブレット	

令和5年度 「公共」 年間指導・評価計画	学年 2年	使用教科書	補助教材
	生活創造科	公共（実教出版）	なし

学習の目標

○倫理分野	社会に参画する際に、選択・判断するための手がかりとなる見方・考え方を思考実験などを通じて、多角的・多面的に考察する。
○政治・経済・国際分野	「第1部公共の扉」で身につけた見方・考え方を活用して、法・政治及び経済に関する課題の解決策を考察する。また他者と協働して追求したり解決したりする。
○探求学習	地球環境問題など現代社会の諸課題を把握したうえで、その課題の解決に向けた合意の形成をめざし、協働的に考察・構想し、自らの考えを説明したり論述する。

指導計画及び評価方法等

月	学習項目	学習活動	評価基準		
4 5 6 7	第1部 倫理・政治 第1章社会を作る私たち 第2章人間としてよく生きる 第3章他者とともに生きる 第4章民主社会の倫理 第5章民主国家の基本原則	・人間としての在り方生き方について理解させる。	知識・技能 小テスト、定期考査 ・自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。	思考・判断・表現 定期考査、レポート、ノート ・他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多角的・多角的に考察し表現している。	主体的に学習にとりくむ態度 活動の様子の観察、レポート、口頭発表など ・社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。
9 10 11 12	第2部 1 憲法・政治・経済 第1章日本国憲法の基本原理 第2章日本の政治機構と政治参加 第2部 2 経済 第1章現代の経済社会 第2章経済の特質と国民生活	・日本国憲法の成立過程や基本原理、社会が変化するなかで重視されるようになったさまざまな権利の内容を理解させる。 ・労働問題等今日の課題を考察させる。	小テスト、定期考査 ・日本国憲法の基本原理について理解している。	定期考査、レポート、ノート ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し解決に向けて考察したり構想したりしたことを論拠をもって表現している。	活動の様子の観察、レポート、口頭発表など ・日本の政治機構について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。
1 2 3	第2部 3 国際社会 第1、2章国際経済の課題 第3部 持続可能な社会づくり	・この科目のまとめとして社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、第1部及び第2部で扱った課題などへの関心を一層高める。	小テスト、定期考査 ・それぞれが選択した現実社会の諸課題について、必要な情報を収集し読み取り、まとめることができる。	定期考査、レポート、ノート ・それぞれが選択した現実社会の諸課題について問いを見だし、協働的に考察・構想している。	活動の様子の観察、レポート、口頭発表など ・それぞれが選択した現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。

【シラバス】年間指導・評価計画	学 科	単位数	使用教科書	使用副教材
長崎県立島原農業高等学校 令和5年度 2年 数学A	生活創造科 2年	3	最新 数学I（数研出版） 最新 数学A（数研出版）	パラレルノート数学I+A（数研出版）

1 科目の目標と評価の観点

学習の目標と評価の観点			
目 標	数学 I	図形と計量の知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。	
	数学 A	図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。	
評価の観点	知識・技能		思考力・判断力・表現力
	数学 I		主体的に学習に取り組む態度
	図形と計量についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力。社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	
数学 A	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力。不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力。数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。	

2 学習計画と観点別評価規準 *以下、履修月はあくまでも目安である。

数学I 第4章 図形と計量

学習内容（配当時間）	時 数	学習のねらい	知識・技能 【評価方法】定期考査、小テスト、模擬テスト、パラレルノート	思考力・判断力・表現力 【評価方法】定期考査、小テスト、模擬テスト	主体的に学習に取り組む態度 【評価方法】行動観察、課題提出
第1節 1. 鋭角の三角比	2	三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比の相互関係などを理解できるようにする。また、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、三角比を活用して問題を解決する力を培う。	○三角比は、直角三角形の辺の比であることを理解している。 ○直角三角形において、 $\sin A$ 、 $\cos A$ 、 $\tan A$ の値を求めることができる。 ○三角比の表を用いて、三角比の値や角を調べることができる。	○三角比の値が角の大きさによって定まることを理解している。	
2. 三角比の利用	1		○三角比を使って、距離や高さを求めることができる。	○直接測ることのできない距離などの求め方を考えようとし、具体的な事象を三角比の問題として見るることができる。	○直接測ることのできない距離などの求め方を考えようとし、具体的な事象を三角比の問題として見るることができる。
3. 三角比の相互関係	2		○三角比の相互関係を用いて、三角比の1つの値から残り2つの三角比の値を求めることができる。 ○ $90^\circ - A$ の三角比の公式を利用できる。	○ $\sin^2 \theta + \cos^2 \theta = 1$ を三平方の定理として、とらえることができる。	○三角比の相互関係を調べようとする。

4. 三角比の拡張	3	5	○鈍角の三角比の値を求めることができる。 ○鈍角も含めて三角比の相互関係を用いて、三角比の1つの値から残り2つの三角比の値を求めることができる。 ○ $180^\circ - \theta$ の公式を利用できる。	○座標を用いた鈍角の三角比の定義を理解している。	○三角比の相互関係が鈍角のときも成り立つことを調べようとする。
5. 三角比が与えられたときの角、研究	2		○座標を用いて、 θ の三角比の値から θ を求めることができる。	○直線の傾きと正接の関係を考察することができる。	○の三角比が与えられたときに θ を求める際、図を積極的に利用しようとする。
第2節 6. 正弦定理	2	図形の構成要素間の関係を、三角比を用いて表現し定理や公式を導く力、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、正弦定理、余弦定理などを活用して問題を解決したりする力などを培う。	○正弦定理における $A=B=C+\pi$ の関係式を適切に処理できる。 ○正弦定理を用いて三角形の外接円の半径や辺の長さを求めることができる。		○正弦定理の図形的意味を考察する。
7. 余弦定理	3		○余弦定理を用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めることができる。		○余弦定理の図形的意味を考察する。
8. 三角形の面積	2		○2辺の長さとその間の角の大きさが与えられた三角形の面積を求めることができる。 ○3辺の長さが与えられた三角形の面積を求めることができる。	○三角比と三角形の面積の関係を考察することができる。	
9. 図形の計量	2		○四角形を対角線で2つの三角形に分割して、面積を求めることができる。 ○正弦定理や余弦定理を用いて、測量問題が解決できる。	○正弦定理や余弦定理を用いて、測量問題が解決できる。	○日常の事象や社会の事象などに正弦定理や余弦定理を活用しようとする。
総 括 演 習	2		○ヘロンの公式を使って、三角形の面積を求めることができる。		

数学A 第1章 場合の数と確率

学習内容（配当時間）	時 数	学習のねらい	知識・技能 【評価方法】定期考査、小テスト	思考力・判断力・表現力 【評価方法】定期考査、課題提出	主体的に学習に取り組む態度 【評価方法】定期考査、授業態度
1. 集合	1	9	○要素を書き並べて表して、集合の要素の個数を求めることができる。 ○集合をそれぞれの場合に適した形で表すことができる。 ○共通部分、和集合、補集合を求めることができる。	○集合をそれぞれの場合に適した形で表すことができる。	○日常語の「かつ」「または」「…でない」との関連を認識しようとする。
2. 集合の要素の個数	2		○要素を書き並べて表して、集合の要素の個数を求めることができる。 ○和集合の要素の個数の公式を用いることができる。 ○補集合の要素の個数の公式を用いることができる。 ○日常の事象に対して集合を考え、人数などを求めることができる。	○ベン図を利用して集合を図示することで、要素の個数を考察することができる。	○集合を考えることで、日常的な事柄などを、集合の要素の個数として数学的に数えようとする。
3. 樹形図、和の法則、積の法則	3		○場合の数を、もれなく重複なく数える手段として、樹形図が有用であることを理解している。 ○樹形図や和の法則、積の法則を用いることができる。	○場合の数を数える適切な方針を考察することができる。 ○自然数の正の約数の個数を数える方法を考察することができる。	○1つの原則を決めて、樹形図などを利用して、もれなく重複することなく数えようとする。 ○正の約数の個数を数えることに興味をもつ。
4. 順列	3		○順列の用語、記号、公式を理解し、利用できる。 ○具体的な問題を通じて、どのような場合に順列の考え方が適用できる。	○積の法則から順列の公式を考察することができる。	

				るかを見極めることができる。	○具体的な問題を通じて、どのような場合に順列の考え方が適用できるかを見極めることができる。	
	E.円順列と重複順列	3		○円順列の用語、公式を理解し、利用できる。 ○重複順列の用語、公式を理解し、利用できる。	○既知の順列や積の法則をもとにして、円順列、重複順列を考察することができる。 ○具体的な問題を通じて、どのような場合に円順列、重複順列の考え方が適用できるかを見極めることができる。	○順列、円順列、重複順列の違いに興味・関心をもつ。
	6.組合せ	5		○組合せの用語、記号、公式を理解し、利用できる。 ○組分けの問題を処理できる。 ○同じものを含む順列の総数を求めることができる。	○順列の総数をもとにして、組合せの総数を考察することができる。 ○特殊な条件が付く組合せを見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。 ○同じものを含む順列を、組合せで考察することができる。	○組合せの考え方を利用して、図形の個数や同じものを含む順列の総数などが求められることに興味・関心をもつ。
			10			
第2節	7.確率の意味	1		確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	○確率の意味を理解している。	○身近な試行によって起こる事象と関連づけながら、実験などを通じて確率に興味・関心をもつ。
	8.確率の計算	2		○事象を集合で表すことができる。 ○試行や事象の定義を理解している。 ○確率の定義に基づき、事象の確率を求めることができる。	○試行の結果を事象としてとらえ、事象を既知の集合と結びつけて考えることができる。 ○不確定な事象を、同様に確からしいという概念をもとに数量的にとらえることができる。	
	9.確率の基本性質	2		○積事象、和事象の意味を理解し、具体的な事象に対して、積事象、和事象を集合で表すことができる。 ○事象の排反の意味を理解し、2つの事象が排反であるかを判断できる。		○和事象、積事象、排反、空事象、確率の基本性質を集合と関連づけて考察しようとする。
	10.和事象の確率	2		○確率の加法定理を用いて、確率を求めることができる。 ○一般の和事象の確率を求めることができる。		○一般の和事象の確率を集合と関連づけて考察しようとする。
	11.余事象の確率	2		○余事象の確率の公式を利用して、確率を求めることができる。	○補集合をもとに、余事象を考察することができる。	
	12.独立な試行の確率	1		○独立な試行の意味を理解している。 ○独立な試行の確率を、公式を用いて求めることができる。	○2つの独立な試行を行うとき、その結果として起こる事象の確率について考察することができる。	○独立な試行の確率について、興味をもって調べようとする。
	13.反復試行の確率	2		○反復試行の確率を、公式を用いて求めることができる。	○反復試行の確率を、具体的な例から直観的に考えることができる。	○具体的事象について、反復試行の確率に興味をもって調べようとする。
	14.条件付き確率	3		○条件付き確率の定義、意味を理解している。 ○条件付き確率を、公式を用いて求めることができる。 ○確率の乗法定理を用いて、確率を求めることができる。		○くじ引きの確率が、引く順番に関係なく等しくなることに興味をもつ。

15.期待値	1			○期待値の定義を理解し、確率の性質などに基づいて期待値を求めることができる。		
--------	---	--	--	--	--	--

第2章 図形の性質

学習内容(配当時間)	時数	学習のねらい	観点別評価基準		
			知識・技能 【評価方法】定期考査、小テスト	思考力・判断力・表現力 【評価方法】定期考査、課題提出	主体的に学習に取り組む態度 【評価方法】定期考査、授業態度
第1節					
1.角の二等分線と比	3	12	○平行線の性質を用いて、線分の長さを求めることができる。 ○線分の内分と外分を理解し、内分する点と外分する点を図示することができる。 ○三角形の内角・外角の二等分線と比の性質を用いて、線分の長さを求めることができる。	○証明する際に、適当な補助線を引いて考察することができる。	○線分を分ける点や、三角形の角の二等分線と比について調べようとする態度がある。
角の性質					
2.三角形の外心、内心、重心	3		○外心の性質を用いて、具体的な問題を処理できる。 ○内心の性質を用いて、具体的な問題を処理できる。 ○重心の性質を用いて、具体的な問題を処理できる。	○図形の性質を証明するのに、間接的な証明方法である同一法を適用することができる。	○三角形の3辺の垂直二等分線が1点で交わることの証明方法に関心をもつ。 ○三角形の3つの角の二等分線が1点で交わることの証明方法に関心をもつ。 ○三角形の3本の中線が1点で交わることの証明方法に関心をもつ。
3.チェバの定理・メネラウスの定理、研究	3	1	○三角形の面積と線分の比の性質を理解している。 ○チェバの定理を用いて、線分比を求めることができる。 ○メネラウスの定理を用いて、線分比を求めることができる。	○チェバの定理、メネラウスの定理について、論理的に考察し、証明することができる。 ○三角形の辺と角の大小関係や、三角形の存在条件を理解している。	○三角形の面積と線分の比の性質の証明方法に関心をもつ。 ○チェバの定理の証明方法に関心をもつ。 ○メネラウスの定理の証明方法に関心をもつ。 ○身近な問題に対し、チェバの定理を活用できることを理解し、図形の性質に興味・関心をもつ。 ○三角形の辺と角の大小関係という、目明に見える事実でも、論理的に考察しようとする。
第2節					
4.円周角の定理	1		○中学校で学んだ円周角の定理やその逆について理解している。 ○円周角の定理を用いて、角の大きさを求めることができる。 ○円周角の定理の逆を用いて、4点が同一円周上にあることを調べることができる。		
円の内接する四角形	2		○円に内接する四角形の性質を用いて、角の大きさを求めることができる。 ○四角形が円に内接するかどうかを判定できる。	○三角形の外接円と四角形の外接円の違いを認識し、円に内接する四角形の性質や四角形が円に内接する条件を理解する。	○三角形の外接円と四角形の外接円の違いを認識し、円に内接する四角形の性質や四角形が円に内接する条件を考察しようとする。

質					
6. 円と接線	2	3	○円の接線の性質を用いて、辺や線分の長さを求めることができる。	○円と直線の位置関係に3つの場合があることを理解している。	
7. 接線と弦の作る角	2		○接線と弦の作る角の定理を利用して、角の大きさを求めることができる。	○接線と弦の作る角についての定理の証明方法を理解する。	○接線と弦の作る角についての定理を証明する際に、鋭角の場合と鈍角の場合に分けて考察しようとする。
8. 方べきの定理	2		○方べきの定理を用いて、線分の長さを求めることができる。	○方べきの定理の証明方法を理解する。	○方べきの定理は、円周角の定理や円に内接する四角形の性質などを用いて証明されることに関心をもつ。
9. 2つの円	2		○2円の位置関係に5つの場合があることを理解している。 ○2円の共通接線について理解し、その長さを求めることができる。	○2円の位置関係を、動的な面から観察することができる。	○2つの円の位置関係の判定条件として、中心間の距離と半径の関係について、積極的に考察しようとする。

令和5年度 年間学習計画（シラバス）

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	2単位
学科	生活創造科		学年	第2学年	
教科書	新編化学基礎(東京書籍)		副教材等	なし	

1. 学習の目標

- (1) 物事を理論的に考える力を養います。
- (2) 化学的に探究する能力を養います。
- (3) 日常生活との関連性を理解します。

2. 学習計画及び評価方法

学期	月	学習の内容(項目)	学習のねらい	評価の項目		
				知識技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1学期	4	1編 化学と人間生活 1章 化学とは何か	・化学と物質について、化学の特徴を理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。	・表現生活の中には多くの物質があり、化学変化を利用していることを理解している。	・物質の性質をもとに、分離の方法を考えることができる。	・身のまわりの物や製品について、友達と話し合いながらそれらはどんな物質でできているという視点で考えようとしている。
	5	2章 物質の成分と構成元素	・化学と物質について、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。	・混合物から純物質を分離する方法を理解している。 ・炎色反応や沈殿の生成で、元素の種類を確認できることを理解している。	・色素を分離する実験で、色素のどのような性質によって分離されたかを科学的に考察している。 ・炎色反応についての実験を行い、元素の種類を推測するなど科学的に考察しようとしている。	・この章で身につけたことを友達と共有する。学習内容到達度について自己評価する。日常生活や社会と化学がつながった部分をまとめる。
	6	2編 物質の構成 1章 原子の構造と元素の周期表	・物質の構成粒子について、原子の構造、電子配置と周期表のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。	・原子の構造及び陽子、中性子、電子の性質を理解している。 ・原子番号1～20までの典型元素の電子配置を理解している。 ・元素の周期律及び原子の電子配置と周期表の族と周期との関係について理解している。	・放射性同位体同位体について、どのように使われているという視点で考えようとしている。 ・アルカリ金属の性質を観察し、同族元素との関係性を表現する。元素の周期律について規則性を見いだして表現している。	・この章で身につけたことを友達と共有する。学習内容到達度について自己評価する。日常生活や社会と化学がつながった部分をまとめる。
	7					
第2学期	9	2編 物質の構成 2章 化学結合	・物質と化学結合について、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。	・イオンの生成や共有結合を電子配置と関連付けて理解している。 ・イオン結合およびイオン結合でできた物質及び分子でできた物質の性質を理解している。 ・金属の性質及び金属結合を理解している。	・金属とその用途について、友達と話し合いながらそれらは身のまわりでどのように使われているという視点で考えようとしている。 ・化学結合と物質の分類について、友達と話し合いながら規則性や関係性を解釈して表現しようという視点で考えようとしている。	・イオン結晶についての実験を行い、イオン結晶やイオンの性質について考察しようとしている。 ・この章で身につけたことを友達と共有する。学習内容到達度について自己評価する。日常生活や社会と化学がつながった部分をまとめる。
	10					
	11	3編 物質の変化 1章 物質と化学反応式	・物質と化学反応式についての実験などを通して、物質質量、化学反応式のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。	・相対質量と原子量について理解している。 ・物質と粒子、質量、気体の体積の関係について理解している。 ・濃度について理解している。 ・化学反応式が化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを見いだして理解している。	・物質と粒子、質量、気体の体積について観察を行い、得られた結果を分析できる。 ・実験結果から反応物と生成物の比を求めさせ、化学反応式の係数の比と比較させることを通して、物質の比が化学反応式の比を表していることを見いだした活動を行っている。	・化学反応における量的関係についての実験を行い、化学反応式の係数が物質の比を表していることを見出そうとしている。 ・この章で身につけたことを友達と共有する。学習内容到達度について自己評価する。日常生活や社会と化学がつながった部分をまとめる。
	12	2章 酸と塩基	・化学反応についての実験などを通して、酸・塩基と中和のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。	・酸と塩基の性質及び定義を理解している。 ・水溶液の酸性・塩基性は、水素イオン濃度やpHで表せることを理解している。 ・酸と塩基が完全に中和するときの化学反応式及び中和反応に関与する物質の量的関係について理解している。	・酸と塩基の強弱と電離度の関係性を予想し、実験などを通じて関係性を見いだし表現できる。 ・器具の扱い方や溶液の調製方法など中和滴定操作における基本的な技術を得るとともに、実験などを通じて結果を分析し解釈することができる。	・中和滴定の実験を行い、食酢の濃度を正確に調べるために、正しく器具を使い、科学的に考察しようとしている。 ・この章で身につけたことを友達と共有する。学習内容到達度について自己評価する。日常生活や社会と化学がつながった部分をまとめる。
第3学期	1	3章 酸化還元反応	・化学反応についての実験などを通して、酸化と還元のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。	・酸化と還元が電子の授受によることを理解している。 ・酸化還元反応式の反応式について理解している。 ・金属のイオン化傾向について理解している。 ・電池の構造やしくみ及び金属の製錬について理解している。	・酸化還元滴定操作における基本的な技術を得るとともに、実験などを通じて結果を分析し解釈することができる。 ・電池について構造とその用途について、友達と話し合いながらそれらは身のまわりでどのように使われているという視点で考えようとしている。	・酸化剤と還元剤の反応を調べる実験を行い、それぞれの結果を化学反応式で表すなど、科学的に考察を行おうとしている。 ・この章で身につけたことを友達と共有する。学習内容到達度について自己評価する。日常生活や社会と化学がつながった部分をまとめる。
	2					
	3					

授業担当等	生活創造科2年	使用教科書	大修館書店 現代高等保健体育(保体701)
-------	---------	-------	--------------------------

教科・科目の目標

- (1) 合理的・計画的な実践を通して運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を継続することができるようにするために、運動の多様性や体力の必要性を理解し、それらの技能を身に付けるようにする。
- (2) 豊かに運動を継続するための課題を発見し、解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 競争や協働の経験を通して、公正・協力・責任・参画などの力に加え、一人ひとりの違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全の確保や運動に生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。

項目名	時間	知識・技能	評価方法	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体育					
1 オリエンテーション	2	・学校での集団生活や授業について理解する。 ・公正・協力・責任・参画と意欲や態度の大切さを理解する。	①健康・安全の確保のための準備物(用具や服装)の点検	・あいさつ、返事や返答、聞く態度など多様な伝える力を表現する。	・準備物などの管理ができる。
2 体づくり運動	8	・学校生活に必要な体力や態度について理解する。 ・協働の楽しさや喜びを深くあじわう。 ・課題の動きを理解し正しくからだを動かす。 ・相手の動きに応じた基本動作から得意動作や連絡技、変化技を用いて攻防を展開する。 ・相手の構えを崩す素早い仕掛けやタイミングをずらした攻防を個人や仲間との連携でつくる。	②公正・協力・責任・参画について行動の分析 ③活動時の技能(授業での知識を理解した技能の分析) ④発言や記述の分析 ⑤聞く時の態度 ⑥活動時の態度	・グループ内でどこに重点を置き練習を進めるかなど合理的かつ計画的な実践をする。 ・自己や仲間の考えたことを伝える。 ・一人ひとりが自分の役割を理解・判断し、責任ある行動をする。 ・互いを助け合い高めようとする。	・個人や仲間との練習を通じて試合回数を重ねながら意欲的に活動する。 ・学習内容に対して正しいフォームや位置取りなどを意識しながら取り組む。 ・コミュニケーションを学ぶ場ということを理解して、意欲的に他者と関わる。
3 選択E 以下の領域・種目より1選択 ・武道(柔道) ・球技 (ネット型:バドミントン/ ゴール型:バスケットボール/ サッカー)	8	・球技においても、わが国固有の文化である武道の相手を尊重する姿勢を重んじ、礼法を学ぶ中で人間形成に役立つことを理解する。 ・空間を埋めることやつくることで攻防を展開する。			・わからない動作や説明に対して、教師や仲間へ質問したり調べるなど意欲的に活動する。 ・役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとする。
4 体育理論 技能の上達過程と練習(復習) スポーツの始まりと変遷 文化としてのスポーツ	2	・自身の体力測定結果を把握し、補強運動での計画的な体力の高め方を理解する。 ・スポーツの変遷や文化としてのスポーツについて自分の言葉や文章で説明する。			
5 選択F 以下の球技種目より1選択 (ネット型:バレーボール/ バドミントン ゴール型:ラグビー)	10	・種目の特徴を理解してエリア内の人数の優位を考えた作戦などを用いた攻防を展開する。 ・基本動作から変化技など生涯にわたって運動を楽しむために多様な技の学習に挑戦する。 ・相手の構えを崩す素早い仕掛けやタイミングをずらした攻防を個人や仲間との連携でつくる。		・公正の中で自身の役割を判断し、行動したり提案したりする。 ・自分や仲間の考えていることを伝える。 ・自分や仲間の長所を生かすためにコミュニケーションを円滑に作戦を立てたりしたことを実践する。 ・用具の準備片付けをより迅速に行うよう協力して合理的に活動する。 ・安全に留意した練習エリアの活用と合理的、計画的な時間設定を判断し活動する。 ・危険を予測しながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保する。	
6 体育理論 オリンピックとパラリンピックの意義 スポーツが経済に及ぼす効果	2	・オリンピックとパラリンピックの意義やスポーツイベントと経済について自分の言葉や文章で説明する。			
7 選択G 以下の領域・種目より1選択 ・武道(柔道) ・球技 (ネット型:ソフトテニス/ ベースボール型:ソフトボール/ ゴール型:バスケットボール)	14	・相手の動きに応じた基本動作から得意動作や連絡技、変化技を用いて攻防を展開する。 ・相手の構えを崩す素早い仕掛けやタイミングをずらした攻防を個人や仲間との連携でつくる。 ・球技においても、わが国固有の文化である武道の相手を尊重する姿勢を重んじ、礼法を学ぶ中で人間形成に役立つことを理解する。			
項目名	時間	知識・技能	評価方法	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体育					
8 体育理論 スポーツの高潔さとドーピング スポーツと環境	2	・課題や具体例をあげて学習内容を説明する。 ・スポーツは環境とどのように調和していけばよいのか説明する。	①健康・安全の確保のための準備物(用具や服装)の点検	・公正の中で自身の役割を判断し、行動したり提案したりする。 ・自分や仲間の考えていることを伝える。 ・自分や仲間の長所を生かすためにコミュニケーションを円滑に作戦を立てたりしたことを実践する。 ・用具の準備片付けをより迅速に行うよう協力して合理的に活動する。 ・安全に留意した練習エリアの活用と合理的、計画的な時間設定を判断し活動する。 ・危険を予測しながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保する。	・個人や仲間との練習を通じて試合回数を重ねながら意欲的に活動する。 ・学習内容に対して正しいフォームや位置取りなどを意識しながら取り組む。 ・コミュニケーションを学ぶ場ということを理解して、意欲的に他者と関わる。
9 陸上競技(長距離走)	10	・腕振りや力みのないフォームの習得で技能が高まるだけでなく、生涯にわたって運動に親しむ力が育まれることを理解する。 ・呼吸法やピッチ、ストライドを生かして自分のペースを維持して走る。 ・1周ごとのラップを分析し、自身の記録を伸ばす合理的な練習方法を考察し挑戦する。 ・自分のペースの変化や仲間のペースに合わせて走法の切り替え。	②公正・協力・責任・参画について行動の分析 ③活動時の技能(授業での知識を理解した技能の分析) ④発言や記述の分析 ⑤聞く時の態度 ⑥活動時の態度		
10 選択H 以下の領域より1領域選択 ・器械運動 ・ダンス	12	・基本的な技や発展技から構成した演舞を短い時間で創作する。 ・決められた時間数で演舞を作り上げる中で合理的で計画的な方法をクラス内で協働し築きあげる。 ・役割分担をして、任された仕事を責任をもって行う。 ・決まったタイミングに合わせて、体をお手本通りに止めたリ動かしたりする。 ・基本的な技や発展技の達成を通して運動の楽しさや喜びを深く味わう。 ・する見る調べる支えるの運動の関わり方の中で運営の部分意識して活動する。		・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする。	・役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとする。

授業担当等	生活創造科2年	使用教科書	大修館書店 現代高等保健体育(保体701)
-------	---------	-------	--------------------------

教科・科目の目標

- (1)ライフステージと健康の関連について学ぶことでそれぞれが命の大切さを学ぶとともに各ライフステージで活用できる社会からの支援について例をあげることができる。
- (2)健康を支える環境づくりについて学び、環境づくりへの主体的な参加が自他の健康づくりにつながることを説明できる。

項目名	時間	知識・技能	評価方法	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
保健編 3単元 生涯を通じる健康								
1 ライフステージと健康	12	・ライフステージと健康について理解したことを言ったり書いたりしている。 ・思春期の心身の変化、自分の行動責任や異性理解及び尊重する態度、及び性に関する情報等への適切な対処について、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題や家族計画の意義や人工妊娠中絶の影響、結婚生活を健康に過ごすため知識や様々な支援、及び保健・医療サービスの活用について、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・中高年期と健康における、個人や社会の取り組みについて理解したことを言ったり書いたりしている。	①記述の点検 ②行動の分析 ③記述の分析 ④座学やアクティブラーニング時の態度	・学習内容について、原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・学習内容について、整理したり関連付けたりして、課題解決の方法に応用している。 ・課題や解決方法を選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	学習内容について課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。			
2 思春期と健康								
3 性意識と性行動の選択								
4 妊娠・出産と健康								
5 避妊法と人工妊娠中絶								
6 結婚生活と健康								
7 中高年期と健康								
8 働くことと健康	4	・働く人の健康における、個人や社会の取り組みについて理解したことを言ったり書いたりしている。						
9 労働災害と健康								
10 健康的な職業生活								
4								
1 大気汚染と健康	8	・環境と健康にかかわる対策について、理解したことを言ったり、書いたりしている。 ・上下水道の整備、環境衛生活動について、理解したことを言ったり書いたりしている。	同上	同上	同上			
2 水質汚濁、土壌汚染と健康								
3 環境と健康にかかわる対策								
4 ごみの処理と上下水道の整備								
5 食品の安全性	3	・食品の安全性と人々の健康について、理解したことを言ったり書いたりしている。						
6 食品衛生にかかわる活動								
7 保健サービスとその活用	6	・保健サービス、医療サービス、医薬品の制度、それぞれの活用について理解したことを言ったり書いたりしている。						
8 医療サービスとその活用								
9 医療品の制度とその活用								
10 さまざまな保健活動や社会的対策	1	・各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。						
11 健康に関する環境づくりと社会参加	1	・一人一人が健康に関心を持ち、環境づくりに積極的に参加していくことが自分を含めた世界の人々の健康の保持増進につながることにについて、理解したことを言ったり書いたりしている。						

教科・科目の目標							
(1) 日常的な話題について、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを伝え合うことができる。							
(2) 日常的な話題について、必要な情報を読み取ったり、文章の展開や聞き手の意図を把握することができる。							
(3) 日常的な話題について、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができる。							

学期区分	課	知識技能 【定期考査で評価】	思考・判断・表現【英会話力・スピーキングで評価】			主体的に取り組む態度 【小テスト・提出物で評価】	評価の方法
			Speaking	Listening	Writing		
1 学 期 中 間	Get Ready 1～4	be 動詞・助動詞が適切に使用できる	自己紹介ができる。	単語の聞き取り	be 動詞を適切に使える。	自分の理解の度合いを見極め、質問できるか。	中間考査に代わる30点満点のテスト実施。
1 学 期 期 末	Lesson 1 Okinawa	be 動詞・一般動詞の現在形・助動詞が適切に使用できる	自分の行ってみたいところについて話せる。	リスニングテスト Team Teaching の授業内容の理解	動詞の現在形を適切に使える。	行ってみたい場所についてその理由まで考え表現しようとしたか。	中間考査後の範囲で、筆記・リスニングを課したテスト実施。
2 学 期 中 間	Lesson 2 The History of Japanese Food	be 動詞・一般動詞の過去形が適切に使用できる	自分の好きな食べ物について話せる。	リスニングテスト Team Teaching の授業内容の理解	動詞の過去形を適切に使える。	自分の好きな食べ物について、その理由まで表現しようとしたか。	7月～9月に学んだ内容で、筆記・リスニングを課したテスト実施。
2 学 期 期 末	Lesson 3 Volunteer Work	不定詞・受動態が適切に使用できる。	英会話力テストの実施。ボランティアについて話せる。	リスニングテスト Team Teaching の授業内容の理解	不定詞・受動態が適切に使える。	してみたいボランティア活動について話し、その理由まで表現しようとしたか。	10月～11月に学んだ内容で、筆記、スピーキング・リスニングを課したテスト実施。
学年末	Lesson 4 Gacha-gacha	SV00・SV0Cの区別ができ、適切に使用できる。	好きなガチャガチャの景品について話せる。	リスニングテスト Team Teaching の授業内容の理解	SV00・SV0Cが適切に使用できる。	ガチャガチャについてあったらうれしいものについて話せ、理由も表現しようとしたか。	12月～2月に学んだ内容で、筆記・リスニングを課したテスト実施。

授業担当等	生活創造科2年 (ライフデザインコース)	使用教科書	なし
-------	-------------------------	-------	----

教科・科目の目標

- (1) 農業・生活の各分野に関する課題を設定し、専門的な知識と技術を総合的に活用する力を身につける。
 (2) 問題解決策を探索し、創造的に解決する力を身につける。

育成する資質・能力			知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度	評価の方法	主な学習活動	教材等
月	単元名・内容	時数		多面的に考察すること	適切に判断すること	関わりを知ること・表現すること				
指導事項・評価基準										
4	課題研究活動計画の作成	3	課題研究の活動計画を各自適切に立てることができる。			プレゼンテーションソフトを活用して、研究の導入を効果的に表現できる。	研究に対して主体的に取り組む、自らの技術の向上に努めている。	①研究の進捗 ②授業の態度 ③小テスト等 ④レポート	ホームプロジェクトの大テーマについて知り、各 自のテーマを考え始める。 プレゼンテーションソフトの活用	タブレット
5	ホームプロジェクトについて プレゼンについて	3	プレゼンテーションソフトの操作を理解し、技能を習得する。				研究に対して主体的に取り組む、自らの技術の向上に努めている。	①研究の進捗 ②授業の態度 ③小テスト等 ④レポート	プレゼンテーションソフトの活用	
6		3					研究に対して主体的に取り組む、自らの技術の向上に努めている。	①研究の進捗 ②授業の態度 ③小テスト等 ④レポート	プレゼンテーションソフトの活用	
7	ホームプロジェクトの取り組み（夏季休業中含む）	1	ホームプロジェクトの実施計画を立てることができる。				研究に対して主体的に取り組む、自らの技術の向上に努めている。	①研究の進捗 ②授業の態度 ③レポート	ホームプロジェクトの題目を確定し、実施計画を立てる。 夏季休業中を利用して、研究を深める。	
9	被服製作と草花に分かれ、個人研究を実施。 ○被服製作 （個人）作品の製作 ○草花 （個人）研究・栽培	3	○被服製作 製作したい作品の型紙を作成することができる。 布を裁断し、適切なしつけができる。 仮縫い・試着（補正）の必要性を理解できる。 ○草花 草花栽培の基礎的・基本的な栽培管理について理解している。			○被服製作 製作する作品のデザインやカラーで自己表現する。	研究に対して主体的に取り組む、自らの技術の向上に努めている。	①研究の進捗 ②授業の態度 ③ホームプロジェクト ④レポート	被服：被服製作の作品を考える。 草花：草花を題材にした題目を考える。	研究に関連する教科書 タブレット
10		3				○被服製作 繊維に合わせたアイロン温度を適切に判断できる。	研究に対して主体的に取り組む、自らの技術の向上に努めている。	①研究の進捗 ②授業の態度 ③作品等 ④レポート	被服：採寸、型紙作成 草花：実習	
11		3				布に合わせた糸を判断できる。	研究に対して主体的に取り組む、自らの技術の向上に努めている。	①研究の進捗 ②授業の態度 ③作品等 ④レポート	被服：採寸、型紙作成 草花：実習	
12		3				ミシンの糸調子を適切に判断できる。	研究に対して主体的に取り組む、自らの技術の向上に努めている。	①研究の進捗 ②授業の態度 ③作品等 ④レポート	被服：仮縫い 草花：実習	
1		3				構成に合わせた縫いしろ始末を適切に判断できる。	研究に対して主体的に取り組む、自らの技術の向上に努めている。	①研究の進捗 ②授業の態度 ③作品等 ④レポート	被服：仮縫い、試着 草花：実習	
2		3					研究に対して主体的に取り組む、自らの技術の向上に努めている。	①研究の進捗 ②授業の態度 ③作品等 ④レポート ⑤中間報告	被服：裁断、しるしつけ 草花：実習	
3		2					研究に対して主体的に取り組む、自らの技術の向上に努めている。	①研究の進捗 ②授業の態度 ③作品等 ④小テスト等 ⑤レポート	被服：縫いしろ始末 草花：実習	

教科・科目の目標

生活産業の各分野に関する課題を発見し、解決策を探索し創造的に解決する力を身につける。

育成する資質・能力		知識技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価の方法	主な学習活動	教材等
月	単元名・時数	指導事項・評価基準					
1 学 期	生活支援技術演習 10	根拠に基づいた介護の実践には、利用者視点での生活課題の解決を目的とした介護過程が必要であることを理解する。	介護過程における各展開過程を理解するとともに、計画自体の意義について考察する。 介護過程の目的を、日本国憲法にある基本的人権や生存権、幸福追求権を根拠に理解するとともに、実際に展開していく中で求められる視点について考察する。	・優越性や多様性のある生活や生活支援のあり方について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 ・高齢者の生活について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 ・尊厳の保持や自立支援について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 ・利用者の心身の状況に応じた安全で安楽な支援について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	・実技試験 ・プリント課題 ・日頃の授業態度	・介護技術コンテスト課題について、グループで検討する。 ・「社会福祉基礎」「生活支援技術」で学んだ知識を活かし、事例を検討する。	プリント
2 学 期	12						
3 学 期	8						

教科・科目の目標

- (1) 社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解するとともに情報処理に関する知識と技術を習得する。
 (2) 農業の各分野で情報手段を活用する能力と態度を身につける。
 (3) パソコンを使って基本的なソフト(ワード(文書作成)・エクセル(表計算)・パワーポイント)の使い方とその応用技術を学習する。さらに情報収集の方法としてインターネットの利用方法も学習する。
 (4) データベースソフトウェアの特徴と機能を理解し、利用方法を身につける。
 (5) 画像・図形処理ソフトウェアの特徴と機能を理解し、利用方法を身につける。
 (6) プレゼンテーションソフトウェアの特徴と機能を理解し、利用方法を身につけ、プレゼンテーションを行えるようになる。

育成する資質・能力			知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度	評価の方法	主な学習活動	教材等
				多面的に考察すること	適切に判断すること	関与を知ること				
月	単元名・内容	時数	指導事項・評価基準							
4	講義 情報社会における私たちの生活情報とメディア 実技 キーボードの操作練習 タイピングの基礎練習(ミカタイプ)	4	情報社会における私たちの生活について理解する。 情報とメディアについて理解している。 キーボードの操作方法を理解している。 ミカタイプを利用しタイピングをできるようになる。	情報社会における私たちの生活がどのようなものがあるか調べる。 タイピングを正しくできるようになる。	キーボードの操作方法を理解する。 タイピングを正しくできるようになる。 情報とメディアがどのようなつながっているのか考え、自らの学習を調整しようとしている。 実技の取り組み。	情報社会において私たちの生活がどのようなものか把握し、自らの学習を調整しようとしている。 情報とメディアがどのようなつながっているのか考え、自らの学習を調整しようとしている。 実技の取り組み。	①ノートの点検②記述の点検・分析③実技の記録	キーボードの操作練習 タイピングの基礎練習(ミカタイプ)	教科書p6	
5	講義 情報社会とモラル 実技 農業を支える情報 文書作成(4級)	4	情報社会とモラルについて理解する。 農業を支える情報について理解する。 速度(4級)と文書作成(4級)をできるようになる。	情報社会におけるモラルがどのようなものがあるか調べる。 速度および文書作成を正しくできるようになる。	速度および文書作成を正しくできるようになる。 農業を支える情報についてどのようなものがあるか調べる、自らの学習を調整しようとしている。 実技の取り組み。	情報社会とモラルについてどのようなものがあるか調べる、自らの学習を調整しようとしている。 農業を支える情報についてどのようなものがあるか調べる、自らの学習を調整しようとしている。 実技の取り組み。	①ノートの点検②記述の点検・分析③実技の記録	速度(4級) 文書作成(4級)	教科書p12 ワープロ問題集	
6	講義 コンピュータのしくみ 実技 速度(4級) 文書作成(4級)	6	コンピュータのしくみについて理解する。 データや情報の表現について理解する。 速度(4級)と文書作成(4級)をできるようになる。	コンピュータのしくみがどのようなものになっているか調べる。 速度および文書作成を正しくできるようになる。	速度および文書作成を正しくできるようになる。 データや情報の表現の仕方を理解する。	コンピュータのしくみを理解し、自らの学習を調整しようとしている。 データや情報の表現の仕方を理解し、自らの学習を調整しようとしている。 実技の取り組み。	①ノートの点検②記述の点検・分析③実技の記録	速度(4級) 文書作成(4級)	教科書p26 ワープロ問題集	
7	講義 情報通信ネットワーク 実技 インターネットのしくみ 文書作成(3級)	5	情報通信ネットワークについて理解する。 インターネットのしくみについて理解する。 速度(3級)と文書作成(3級)をできるようになる。	情報通信ネットワークがどのようなものがあるか調べる。 速度および文書作成を正しくできるようになる。	速度および文書作成を正しくできるようになる。 インターネットのしくみを理解し、自らの学習を調整しようとしている。 実技の取り組み。	情報通信ネットワークがどのようなものがあるか把握し、自らの学習を調整しようとしている。 インターネットのしくみを理解し、自らの学習を調整しようとしている。 実技の取り組み。	①ノートの点検②記述の点検・分析③実技の記録	速度(3級) 文書作成(3級)	教科書p40 ワープロ問題集	
9	講義 情報セキュリティ 実技 情報表現のためのソフトウェア 文書作成(3級)	7	情報セキュリティについて理解する。 情報表現のためのソフトウェアについて理解する。 速度(3級)と文書作成(3級)をできるようになる。	情報セキュリティがどのようなものがあるか調べる。 速度および文書作成を正しくできるようになる。	速度および文書作成を正しくできるようになる。 情報表現のためのソフトウェアを正しく利用できるようになる。 実技の取り組み。	情報セキュリティがどのようなものがあるか把握し、自らの学習を調整しようとしている。 情報表現のためのソフトウェアには何があるか把握し、自らの学習を調整しようとしている。 実技の取り組み。	①ノートの点検②記述の点検・分析③実技の記録	速度(3級) 文書作成(3級)	教科書p52 ワープロ問題集	
10	講義 文書の作成と表現 実技 表計算(4級)	8	文書の作成と表現について理解する。 表計算(4級)をできるようになる。	表計算を正しくできるようになる。	文書の作成と表現の仕方を理解する。 表計算(4級)をできるようになる。 実技の取り組み。	文書の作成と表現の仕方を理解し、自らの学習を調整しようとしている。 実技の取り組み。	①ノートの点検②記述の点検・分析③実技の記録	表計算(4級)	教科書p62 表計算問題集	
11	講義 データの集計と視覚化 実技 表計算(4級)	7	データの集計と視覚化について理解する。 表計算(4級)をできるようになる。	表計算を正しくできるようになる。	データの集計と視覚化の仕方を理解する。 表計算(4級)をできるようになる。 実技の取り組み。	データの集計と視覚化の仕方を理解し、自らの学習を調整しようとしている。 実技の取り組み。	①ノートの点検②記述の点検・分析③実技の記録	表計算(4級)	教科書p72 表計算問題集	
12	講義 データベースシステムとオープンデータ 実技 表計算(3級)	6	データベースシステムとオープンデータについて理解する。 表計算(3級)をできるようになる。	表計算を正しくできるようになる。	データベースシステムとオープンデータの活用方法を理解し、自らの学習を調整しようとしている。 実技の取り組み。	データベースシステムとオープンデータの活用方法を理解し、自らの学習を調整しようとしている。 実技の取り組み。	①ノートの点検②記述の点検・分析③実技の記録	表計算(3級)	教科書p90 表計算問題集	
	講義 画像・図形処理ソフトウェアの利用 実技 表計算(3級)	6	画像・図形処理ソフトウェアについて理解する。 表計算(3級)をできるようになる。	表計算を正しくできるようになる。	画像・図形処理ソフトウェアの使い方を理解し、自らの学習を調整しようとしている。 実技の取り組み。	画像・図形処理ソフトウェアの使い方を理解し、自らの学習を調整しようとしている。 実技の取り組み。	①ノートの点検②記述の点検・分析③実技の記録	表計算(3級)	教科書p100 表計算問題集	
2	講義 プレゼンテーション 実技 表計算(3級) パワーポイント	7	プレゼンテーションについて理解する。 表計算(3級)をできるようになる。 パワーポイントを使えるようになる。	表計算を正しくできるようになる。 パワーポイントを正しく使えるようになる。	プレゼンテーションの使い方を理解し、自らの学習を調整しようとしている。 実技の取り組み。	プレゼンテーションの使い方を理解し、自らの学習を調整しようとしている。 実技の取り組み。	①ノートの点検②記述の点検・分析③実技の記録	表計算(3級) パワーポイント	教科書p110 表計算問題集	
3	実技 パワーポイント	6	パワーポイントを使えるようになる。	パワーポイントを正しく使えるようになる。		実技の取り組み。	①ノートの点検②記述の点検・分析③実技の記録	パワーポイント		

教科	家庭	科目	保育基礎	単位数	2単位
教科書	保育基礎(実教出版)	学科・学年	生活創造科(ライフデザインコース) 2年		

学習目標	保育の意義や方法、子どもの発達と生活の特徴、子どもの福祉や文化について理解し、関連する技術を身につけ、保育や子育て支援に寄与する資質・能力を養う。
------	---

【学習計画及び評価方向】

		学習内容	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価方法
1学期	4章 子どもの保育	1章 子どもの保育 1節 保育の意義 1 保育とは 2 保育の意義	子どもの人格形成における保育の重要性を理解している。	子どもの保育の特徴や保育者に求められる姿勢などについて要点をまとめることができる。	保育の意義について、自分自身が親や保育者になることを考えるなど、自分の人生と結びつけて考える姿勢がみられる。	・ワークシート ・実習レポート ・小テスト ・定期テスト ・検定実技練習 ・保育検定など
		2節 保育の方法 1 保育者の役割とは 2 一人ひとりに合わせた指導	発達時期の特性を考慮した保育の工夫が必要であることを理解している。	保育者にはどのような資質が求められるか、またそれを身につけるにはどのようにしたらよいかなど自分の考えを持ち、話し合うことができる。		
		3節 保育の環境 1 家庭での保育 2 幼児教育・保育の場 3 子どもが育つ環境の変化と課題	家庭での保育の現状や、幼児教育・保育の場（幼稚園や保育所、認定こども園など）の保育環境の特徴や役割を理解する。	子どもの健やかな発達のために適切な保育環境について考察する。	子どもを取り巻く環境が子どもの発達に大きな影響を与えることを理解し、発達段階における発達課題に応じて、接し方・援助の仕方・適切な保育環境整備について考えをまとめることができる。	
	5章 子どもの発達	2章 子どもの発達 1節 子どもの発達の特性 1 発達と保育 2 発達の共通性と個別性	・子どもの発達の共通性と個別性について理解している。			
		2節 子どものからだの発達 1 発育・発達の評価 2 身体的特徴 3 生理的特徴	・乳幼児の身体的特徴と生理的特徴及びその変化に関する知識を身につけている。		乳幼児期の身体的特徴と生理的特徴をとらえ、新生児期～乳幼児期へと続く人の発達の過程を理解し、保育技術検定看護技術4級の練習に取り組んでいる。	
		4章 子どもの文化 1節 子どもの文化の意義と支える場 1 子どもの文化 2 子どもの文化を支える場	絵本や遊び、歌などの児童文化財や児童館などの子どもの文化を支える場が、子どもの健やかな発達とどのような関わりを持つか、その意義について理解する。		子どもの発達や特性をふまえた上で、子どもの遊具等の作成に取り組んでいる。 保育技術検定造形表現技術4級、言語表現技術4級の練習に取り組んでいる。。	
	6章 子どもの発達	3章 子どもの心の発達 1 社会・情緒的な発達 2 知的発達 3 言葉の発達	子どもの心の発達の特徴と発達の経過について理解している。	心の発達の土台として大切な愛着関係の形成過程について学び、親子関係の形成と人間関係のひろがりについて考える。		
		特集 月齢、年齢別の発育・発達	誕生～乳児期・幼児期の発達の過程を、それぞれの月齢・年齢ごとの発達に沿った子どもの姿を通して理解する。	それぞれの月齢・年齢ごとの身体的・生理的特徴に関心を持ち、保育に関連づけて考察することができる。	子どもの発達や特性をふまえた上で、子どもの遊具等の作成に取り組んでいる。 保育技術検定4級造形表現技術、言語表現技術の練習に取り組んでいる。	
		4章 子どもの遊びと表現活動 2節 子どもの遊びと表現活動 1 遊びと発達 2 遊びと表現活動	遊びを通して子どもが豊かに発達することについて理解している。		子どもの発達や特性をふまえた上で、保育技術検定3級造形表現技術、言語表現技術の練習に取り組んでいる。	・ワークシート ・実習レポート ・小テスト ・定期テスト ・検定実技練習 ・保育検定など
	9章 子どもの発達	3章 生活習慣の形成 2節 生活習慣の形成 1 子どもの生活習慣 2 基本的な生活習慣 3 社会的な生活習慣	基本的な生活習慣と社会的な生活習慣の意義と重要性を理解する。	子どもが生活習慣を身につけるための援助の方法について思考を深めている。		
3節 健康管理と事故防止 1 子どもの健康管理 2 事故の防止と応急処置		子どもの健康状態を見るときのポイントや病気の特徴、予防接種について理解している。	子どもにおこりやすい事故を予測し、その対策を考えることができる。	子どもの発達や特性をふまえた上で、保育技術検定3級看護技術の練習に取り組む。		
3学期	10章 子どもの福祉	5章 子ども観 1節 子ども観 1 子ども観の変遷 2 権利の主体としての子どもへ	・子ども観の変遷や、権利の主体として尊重されつつある状況を理解している。			・ワークシート ・実習レポート ・小テスト ・定期テストなど
		2節 子ども福祉 1 児童福祉 2 子どもをとりまく課題と対策 3 子どもが育つ社会環境	子どもの福祉に関心を持ち、児童福祉の理念や法律と制度について理解する。	児童憲章や児童の権利に関する条約を通して児童福祉の基本的な考え方を理解し、子どもの幸せとは何かを考える。		
		3節 子育て支援 1 子育て支援からパートナーシップへ 2 社会的養護 3 地域の子育て支援	子どもを地域や社会で支える子育て支援の具体的な場や制度について理解する。		子育ての現状をふまえて、これからの子育て支援を考えようとしている。	

授業担当等	生活創造科2年 (ライフデザインコース)	使用教科書	「ファッション造形基礎」 (実教出版)
-------	-------------------------	-------	------------------------

教科・科目の目標

- (1) 被服の構成、被服の材料、被服の性能を理解する。
 (2) 適切な被服材料の選択と取り扱い、デザイン・使用用途に適した製作技法と関連する技術を習得する。

育成する資質・能力			知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度	評価の方法	主な学習活動	教材等
				多面的に考察すること	適切に判断すること	関わりを知ること・表現すること				
月	単元名・内容	時数	指導事項・評価基準							
4	1節 製作の基礎 (じんべい)	6	手縫い(なみ縫い・まつり縫い・半返し縫いなど)を習得する。		被服製作に興味を持ち、その概要を知る。	実習に対して主体的に取り組む、自らの技術の向上に努めている。	①実習の進度 ②実習の態度 ③作品	じんべい製作	教科書 検定問題集	
5	1節 製作の基礎 (じんべい)	8	ミシン操作を理解する。 ミシン縫い(三つ折りミシン、模様縫い)を習得する。			実習に対して主体的に取り組む、自らの技術の向上に努めている。	①実習の進度 ②実習の態度 ③作品	じんべい製作	教科書 検定問題集	
6	1節 製作の基礎 (じんべい) (シャツ)	10	検定時間内に縫いあげる力を習得する。 裁断・しるしつけの方法を理解する。			シャツ製作の布を適切に選択することができる。	①実習の進度 ②実習の態度 ③作品	被服製作洋服2級検定 シャツ製作	教科書 検定問題集	
7	1節 製作の基礎 (シャツ)	5	シャツの構成を理解し、縫いしろの始末、えりをきれいに仕上げることができる。	日常着にふさわしい布を理解する。		実習に対して主体的に取り組む、自らの技術の向上に努めている。	①実習の進度 ②実習の態度 ③作品 ④記述の点検	シャツ製作	教科書 検定問題集	
9	1節 製作の基礎 (シャツ)	8	シャツの構成を理解し、えりつけ・そでつけをきれいに仕上げることができる。	アウターパンツの構成を理解する。		繊維に合わせたアイロン温度を適切に判断する。	実習に対して主体的に取り組む、自らの技術の向上に努めている。	①実習の進度 ②実習の態度 ③作品	シャツ製作	教科書 検定問題集
10	1節 製作の基礎 (シャツ)	15	シャツの構成を理解し、シャツを完成させることができる。	アウターパンツの構成を理解する。		布に合わせた糸を判断する。 ミシンの糸調子を適切に判断できる。	実習に対して主体的に取り組む、自らの技術の向上に努めている。	①実習の進度 ②実習の態度 ③作品 ④記述の点検	シャツ製作	教科書 検定問題集
11	1節 製作の基礎 (シャツ)	5	検定事前作業を適切に行うことができる。	じんべいの構成を理解する。		縫いしろ始末を適切に判断できる。	農業祭で作品の展示ができる。 ファッションショーで作品を着用し、自己表現ができる。	①実習の進度 ②実習の態度 ③作品	シャツ製作	教科書 検定問題集
12	1節 製作の基礎 (シャツ)	10	検定時間内に縫いあげる力を習得する。				実習に対して主体的に取り組む、自らの技術の向上に努めている。	①実習の進度 ②実習の態度 ③作品 ④記述の点検	被服製作洋服2級検定	教科書 検定問題集
1	1節 製作の基礎 (子ども服)	6	子ども服の構成を理解し、裁断・しるしつけ・縫いしろの始末を適切に仕上げることができる。	子ども服の構成を理解する。		子ども服製作でデザインや布との組み合わせで創意工夫ができる。	実習に対して主体的に取り組む、自らの技術の向上に努めている。	①実習の進度 ②実習の態度 ③作品	子ども服製作	教科書 検定問題集
2	1節 製作の基礎 (子ども服)	6	子ども服の構成を理解し、ギャザーなどの装飾を適切に仕上げることができる。	子ども服の構成を理解する。			実習に対して主体的に取り組む、自らの技術の向上に努めている。	①実習の進度 ②実習の態度 ③作品 ④記述の点検	子ども服製作	教科書 検定問題集
3	1節 製作の基礎 (子ども服)	6	子ども服の構成を理解し、子ども服を完成させることができる。	子ども服の構成を理解する。		実習に対して主体的に取り組む、自らの技術の向上に努めている。	①実習の進度 ②実習の態度 ③作品	子ども服製作	教科書 検定問題集	

[illegible]

教科・科目の目標

- (1) 草花の生産と経営に必要な知識と技術を習得させる。
 (2) 草花の特性や生産に適した環境を理解させる。
 (3) 品質と生産性の向上及び経営の改善を図る能力と態度を育てる。

育成する資質・能力		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価の方法	主な学習活動	教科書
月	単元名・時数	指導事項・評価基準					
4 5 6 7	1 草花生産と消費の動向 (1) 草花の産出の動向 (2) 草花生産と消費の動向 シクラメン・多肉植物・カーネーション・サイネリア・シマアザミの栽培・管理	・草花生産と他の農作物経営の違いについて理解している。 ・草花生産が、消費者のニーズ・ファッション性に大きく影響されることを理解している。 ・草花生産は、切り花・鉢もの・種苗・球根・花壇用苗に分けられ、それぞれ経営に特徴があることを理解している。 ・草花の輸出入の動向について理解している。	・草花の歴史・目的と機能について学び、原産地や心を和ませる「観食用素材としての草花」を理解しようとする。 ・草花の消費と流通について考えようとする。草花の形態の変化や、生育と環境との関係を考えようとする。 ・草花の生産と消費および流通について学習しようとする態度がみられる。栽培形態と消費の動向を知らうとする。 シクラメン・多肉植物・カーネーション・サイネリア・シマアザミの鉢上げ・鉢替えができる。	・わが国で栽培されている草花が、形態的特性や栽培上・利用上の特性によっていろいろと分類されることを理解しようとする。わが国で栽培される草花の種類、生産動向、消費動向、流通の様子について考えようとする。	読書・実習時の態度 レポート 定期考査	・わが国で栽培されている草花を、形態的特性や栽培上・利用上の特性によって分類する。 ・わが国で栽培される草花の種類、生産動向、消費動向、流通の様子を学習する。 ・栄養成長と栄養器官の働き、そして環境との関係を学習する。	教科書 p 8 ～ p 24
9 10 11 12	2 生産と草花の利用 (1) 草花の多面的利用 (2) 園芸デザイン シクラメン・多肉植物・カーネーション・サイネリア・シマアザミの栽培・管理	・草花園芸が、生産を主目的とする生産園芸と、住環境改善や生活の質の向上を主目的とする社会園芸に大別できることを理解している。 ・ビューイングサービス分野において、草花の利用が目ざされていることを理解している。	・生育成長と環境との関係を理解する。環境別に光が、開花調節にも与える影響を学習し、調節技術を得得する。 ・温度・成長調節物質と開花の関係を理解し、調節技術を得得する。また、生育環境と栽培技術を理解する。 ・育種の重要性と育種の目的を理解する。育種の様々な方法を知る。 ・生育環境の肥料と、かん水技術の方法を理解する。 ・実際の栽培管理では、品質向上のために何が必要か理解し、栽培技術と調節剤および栽培環境を理解する。 シクラメン・多肉植物・カーネーション・サイネリア・シマアザミの鉢上げ・鉢替えができる。	・草花が私たちの生活の中でどのように利用されているかを知り、草花の持つ装飾的な特性やデザイン性の理解を深めさせると共に、効果的な園芸装飾技術を得得する。 ・草花の装飾的特性を生かした園芸装飾技術を得得する。 ・切り花、鉢もの、花壇用草花がいろいろな用途に利用されていることを学習する。	読書・実習時の態度 レポート 定期考査	・草花が私たちの生活の中でどのように利用されているかを学習する。 ・草花の持つ装飾的な特性やデザインの理解を深め、効果的な園芸装飾技術を得得する。 ・草花の装飾的特性を生かした園芸装飾技術を身につける。 ・切り花、鉢もの、花壇用草花がいろいろな用途に利用されていることを知る。	教科書 p 28 ～ p 40
1 2 3	3 切り花生産 (1) 切り花生産の特色 (2) 切り花の品質保持 シクラメン・多肉植物・カーネーション・サイネリア・シマアザミの栽培・管理	・産地栽培と施設栽培、促成栽培と抑制栽培などの各種作型を理解している。 ・栽培環境および経営の目標や環境に合った有効な品種・品種の選び方を理解している。 ・繁殖や育苗管理が栽培上重要であることを理解できている。 ・植え付け・剪定・かん水・施肥・病害虫の防除など、草花栽培の基礎的・基本的な栽培管理について、理解している。	・切り花生産の経営と栽培の特徴を具体的に考えることができる。 ・切り花の園芸的分類や栽培の特徴を具体的に考えることができる。 ・シクラメン・多肉植物・カーネーション・サイネリア・シマアザミの鉢上げ・鉢替えができる。	・切り花生産に必要な基礎的・基本的な知識と技術を身につけようとする。 ・地域の環境や施設利用を考慮した栽培計画を立てることができる。 ・切り花生産の施設・設備・資材について有効活用しようとする。	読書・実習時の態度 レポート 定期考査	・切り花生産に必要な基礎的・基本的な知識と技術を身につける。 ・地域の環境や施設利用を考慮した栽培計画を立てることができる。 ・切り花生産の施設・設備・資材について有効活用ができる。	教科書 p 98 ～ p 119

教科・科目の目標

- (1) 草花の生産と経営に必要な知識と技術を習得させる。
 (2) 草花の特性や生産に適した環境を理解させる。
 (3) 品質と生産性の向上及び経営の改善を図る能力と態度を育てる。

育成する資質・能力		基礎能力	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価の方法	主な学習活動	教科書
目	単元名・時数		指導事項・評価基準				
4 5 6 7	1 草花生産と消費の動向 (1) 草花の消費の動向 (2) 草花生産と消費の動向 シクラメン・多肉植物・カーネーション・サイネリア・シヤマニアの栽培・管理	・草花経営と他の農作物経営の違いについて理解している。 ・草花生産が、消費者のニーズ、ファッション性に大きく影響されることを理解している。 ・草花生産は、切り花・鉢もの・種苗・球根、花壇用品に分けられ、それぞれ経営に特徴があることを理解している。 ・草花の輸出入の動向について理解している。	・草花の歴史・目的と環境について学び、原産地や心を和ませる「観葉用素材」としての草花の活用をしようとする。 ・草花の消費と流通について考えようとする。 ・草花の生産と消費との関係性を考えようとする。 ・草花の生産と消費および種類について学習しようとする。 ・草花の生産と消費の動向を知らうとする。 ・シクラメン・多肉植物・カーネーション・サイネリア・シヤマニアの鉢上げ・鉢替えができる。	・わが国で栽培されている草花が、形態的特性や栽培上・利用上の特性によっていかに分類されることを理解しようとする。 ・わが国で栽培される草花の種類、生産動向、流通の様子について考えようとしている。	座学・実習時の態度 レポート 定期考査	・わが国で栽培されている草花を、形態的特性や栽培上・利用上の特性によって分類する。 ・わが国で栽培される草花の種類、生産動向、消費動向、流通の様子を学習する。 ・実習成果と実習報告書の関係、そして環境との関係を学習する。	教科書 p.8 ～ p.24
9 10 11 12	2 生産と草花の利用 (1) 草花の多面的利用 (2) 園芸デザイン シクラメン・多肉植物・カーネーション・サイネリア・シヤマニアの栽培・管理	・草花園芸が、生産を主目的とする生産園芸と、住環境改善や生活の質の向上を目的とする社会園芸に大別できることを理解している。 ・ヒューマンサービス分野において、草花の利用が注目されていることを理解している。	・生産環境と環境との関係を理解する。環境中に光が、開花調節に与える影響を学習し、調節技術を習得する。 ・温度・成長調節物質と開花の関係を理解し、調節技術を習得する。 ・また、生育環境と栽培技術を理解する。 ・育種の重要性と育種の目的を理解する。育種の様々な方法を知る。 ・生育環境の肥料と、かん水技術の方法を理解する。 ・実際の栽培管理では、品質向上のために何が必要か理解し、栽培技術と調節技術および栽培環境を理解する。 ・シクラメン・多肉植物・カーネーション・サイネリア・シヤマニアの鉢上げ・鉢替えができる。	・草花が私たちの生活の中でどのように利用されているかを学び、草花の持つ装飾的な特性やデザインの理論を理解させると共に、効果的な園芸装飾技術を習得する。 ・草花の装飾的な特性を生かした園芸装飾技術を習得する。 ・切り花・鉢もの、花壇用草花がいろいろな用途に利用されていることを学習する。	座学・実習時の態度 レポート 定期考査	・草花が私たちの生活の中でどのように利用されているかを学習する。 ・草花の持つ装飾的な特性やデザインの理論を理解する。効果的な園芸装飾技術を学習する。 ・草花の装飾的な特性を生かした園芸装飾技術を身につける。 ・切り花・鉢もの、花壇用草花がいろいろな用途に利用されていることを知る。	教科書 p.28 ～ p.40
1 2 3	3 鉢もの生産	・鉢もの生産の特色を理解する。 ・地域の環境や施設利用を考慮した生産計画を立てることができる。 ・栽培環境や経営実態に合った有利な種類・品種の選び方を理解している。	・鉢ものの経営的・栽培管理の特色を理解する。 ・鉢もの生産に必要な資材と鉢ものの用途について理解する。 ・鉢ものの仕立て方と商品価値を高める技術を理解する。 ・鉢ものの適切な栽培計画が立案できる。開花調節ができる。 ・わが国産を利用し鉢花の品質の向上をはかることができる。 ・鉢花の仕立て方や商品化の工夫ができる。	・鉢ものの生産に必要な基礎的・基本的な知識と技術を習得する。 ・育苗管理・栽培管理は、経験が必要な技術が多く、反復練習が大切であることを理解させ、実験・実習を通して習得する。 ・鉢ものの品質管理、栽培技術の適否の評価をさせ、商品価値を高める技術を習得する。	座学・実習時の態度 レポート 定期考査	・鉢ものの生産に必要な基礎的・基本的な知識と技術を習得する。 ・育苗管理、栽培管理は、経験が必要な技術が多く、反復練習が大切であることを理解し、実験・実習を通して習得する。 ・鉢ものの品質管理、栽培技術の適否の評価をさせ、商品価値を高める技術を習得する。	教科書 p.44 ～ p.55

【シラバス】年間指導・評価計画	学 科	単位数	使用教科書	使用副教材
長崎県立島原農業高等学校 令和5年度 2年 生活創造科 専攻 数学I	2年 生活創造科 (福祉・看護コース)	2	最新 数学I (数研出版)	パラレルノート数学I+A (数研出版)

1 科目の目標と評価の観点

目 標	福祉・看護コースの生徒対象なので、看護学校受験対策の学習をおこなう。1年次には、「第3章 2次関数」までを学習しているので、1年次の復習をおこない、問題を解く能力を向上させる。			
評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度	
	数と式、2次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	

2 学習計画と観点別評価規程 *以下、履修月はあくまでも目安である。

第1章 数と式

学習内容	時 数	月	学習のねらい	観点別評価規程		
				知識・技能 【評価方法】定期考査、小テスト、模擬テスト、パラレルノート	思考力・判断力・表現力 【評価方法】定期考査、小テスト、模擬テスト	主体的に学習に取り組む態度 【評価方法】行動観察、課題提出
第1節 1. 多項式	1	4	式を、目的に応じて1つの文字に着目して整理したり、1つの文字におき換えたりするなどして既に学習した計算の方法と関連付けて、多面的に捉えたり、目的に応じて適切に変形したりする力を培う。	○単項式や多項式、次数、係数、項について理解している。 ○同類項をまとめて、多項式を降べきの順に整理することができる。 ○ある文字に着目して、多項式を降べきの順に整理することができる。	○式の展開は分配法則を用いれば必ずできることを理解できる。	○単項式、多項式とその整理の仕方に関心をもち、考察しようとする。
2. 多項式の加法・減法・乗法	2			○多項式の加法・減法は、同類項をまとめることによってできることを理解している。 ○指数法則を理解し、計算に用いることができる。 ○分配法則を用いて、式を展開することができる。		
3. 展開の公式	1	5		○展開の公式を用いて、式を展開することができる。		
4. 式の展開の工夫	1			○おきかえを利用し、多項式の展開の公式に帰着させることができる。 ○式の形の特徴に着目して掛ける順番を工夫し、計算を簡単にすることができる。	○複雑な式の展開について、式の工夫の仕方を判断して式を展開することができる。 ○式を1つの文字におき換えることによって、式の計算を簡略化することができる。	
5. 因数分解	2			○共通因数をみつけ、共通因数のくり出しができる。 ○因数分解の公式を用いて、式を因数分解できる。		○展開と因数分解の関係に着目し、因数分解の検算に展開を利用しようとする。
6. いろいろな因数分解	2	6		○多項式を適切な形に整理したり、おきかえなどを利用したりして、因数分解の公式に帰着させることができる。	○複雑な式についても、項を組み合わせる、降べきの順に整理するなどして見通しをよくすることで、因数分解をすることができる。	○式の特徴に着目して複雑な式の因数分解に取り組もうとする。

第2節 7. 実数、研究	1		中学校までに取扱ってきた数を実数としてまとめ、数の体系についての理解を深める。その際、実数が四則演算に関して閉じていることや、直線上の点と1対1に対応していることなどについて理解するとともに、簡単な無理数の四則計算ができるようにする。	○分数を循環小数で表すことができる。 ○有理数と無理数の違い、および実数について理解している。 ○絶対値の意味と記号を理解している。	○分数が有限小数や循環小数で表される仕組みを考察できる。 ○自然数、整数、有理数、実数の各範囲で、四則計算について閉じているかどうかを考察できる。 ○実数が数直線上の点として表されることを考察できる。	○今まで学習してきた数の体系について整理し、考察しようとする。 ○循環小数を分数で表す方法に興味・関心をもち、
8. 根号を含む式の計算	2	7		○平方根の意味・性質を理解している。 ○平方根を含む式の計算ができる。 ○分母の有理化の方法について理解している。	○平方根の性質、平方根の積と商などについて、一般化して考察できる。	
10. 不等式の性質	1			○不等式の性質における不等号の向きを判断することができる。	○不等式の性質を、数直線と対応させて考察できる。	
11. 1次不等式の解き方	3			○不等式の性質、1次不等式の解法を理解し、1次不等式を解くことができる。		○不等式の性質から、1次不等式の解法を考察しようとする。
12. 連立不等式、コラム	1			○数直線を用いて、2つの不等式の共通範囲を求めることができる。 ○連立不等式の解を数直線を用いて表示し、解を求めることができる。 ○ $A < B < C$ の形の不等式を連立不等式として解くことができる。		○連立不等式の解を考察しようとする。
13. 不等式の利用	1				○身近な問題に対し、適切に変数を定め、1次不等式で表現できる。	○身近な問題を、1次不等式を用いて解決しようとする。

第3章 2次関数

学習内容 (配当時間)	時 数	月	学習のねらい	観点別評価規程		
				知識・技能 【評価方法】定期考査、小テスト	思考力・判断力・表現力 【評価方法】定期考査、課題提出	主体的に学習に取り組む態度 【評価方法】定期考査、授業態度
第1節 1. 関数	1	9	2次関数とそのグラフについて理解し、2次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。	○ x の関数 y が与えられたとき、 x の値に対する y の値を求めることができる。 ○ $y=f(x)$ や $f(x)$ の表記を理解しており、関数の値 $f(a)$ を求めることができる。	○身近な問題を、関数の式で表すことができる。	○日常生活に見られる具体例から関数を見つけようとする。
2. 関数とグラフ	1			○座標平面について理解している。 ○関数のグラフがかけられる。 ○1次関数と直線について理解している。 ○2次関数の式が2次式で表されることを理解している。	○関数を表、式、グラフによって考察することができる。	○関数が与えられたとき、そのグラフをかこうとする。
3. $y=ax^2$ のグラフ	1			○2次関数 $y=ax^2$ のグラフの頂点、軸について理解している。		○放物線のもつ性質に興味・関心を示し、自ら調べようとする。
4. $y=ax^2+c$ のグラフ	1			○2次関数 $y=ax^2+c$ のグラフの頂点、軸について理解している。 ○放物線をかき、それを y 軸方向に平行移動させることができる。	○2次関数 $y=ax^2+c$ のグラフの特徴を考察することができる。	
5. $y=a(x-p)^2$ のグラフ	1			○2次関数 $y=a(x-p)^2$ のグラフの頂点、軸について理解している。	○2次関数 $y=a(x-p)^2$ のグラフの特徴を考察する	

[illegible]

教科・科目の目標

- (1) 英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。
 (2) 英語を通じて事実や意見などを多角的に考察し、工夫しながら伝える能力を養う。
 (3) 英語を通じて言語や文化について理解を深める。

	課	知識技能 【定期考査で評価】	思考・判断・表現 Writing【定期考査で評価】	主体的に取り組む態度 【小テスト・提出物で評価】	評価の方法
1学期中間	Lesson 1～3	第1・第3・第4文型を使用できる	左記の文型で英作文ができる。また日常行うこと、天候について表現できる。	小テストや提出物はもちろん、タブレットを使った小テストも加味する。	中間テストに代わる30点満点のテストを授業内で実施。
1学期期末	Lesson 4 Lesson 5 Lesson 6	平叙文・否定文・疑問文を使用できる。	左記の文を使いながら、自分や友人、身の回りの人について表現できる。	小テストや提出物はもちろん、タブレットを使った小テストも加味する。	中間考査後の範囲で、100点満点のテストを実施。
2学期中間	Lesson 7 Lesson 8	現在完了形・現在完了進行形・助動詞を使用できる。	左記の表現を使いながら、自分の町や、身の回りの状況について表すことができる。	小テストや提出物はもちろん、タブレットを使った小テストも加味する。	1学期期末考査後の範囲で、100点満点のテストを実施。
2学期期末	Lesson 9 Lesson 10	第2文型・第5文型を使用できる。	左記の文型で英作文ができる。また、先生や学校での生活について表現できる。	小テストや提出物はもちろん、タブレットを使った小テストも加味する。	2学期中間考査後の範囲で、100点満点のテストを実施。
学年末	Lesson 11 Lesson 12 Lesson 13	受動態・助動詞＋受動態・不定詞を使用できる。	左記の表現を使いながら、読書や感情に関連する事柄について表現できる。	小テストや提出物はもちろん、タブレットを使った小テストも加味する。	2学期期末考査後の範囲で、100点満点のテストを実施。